

ハ. 最小血圧

全体の最小血圧の平均値は73.8mmHgである。男女別にみると、男性では75.5mmHg、女性では72.9mmHgで、男性の方がやや高い。

男女別・年齢階級別にみると、男性で最小血圧の平均値が最も低いのは40-44歳(71.8mmHg)で、次いで70-74歳(74.5mmHg)である。女性で最小血圧の平均値が最も低いのは40-44歳(64.5mmHg)で、次いで45-49歳(68.9mmHg)である。

図表 3-5 3 最小血圧

男性	最小血圧 (mmHg)			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	85	71.8	55.0	102.0
45～49歳	116	76.2	55.5	113.0
50～54歳	148	78.5	52.0	113.0
55～59歳	220	76.9	56.0	105.5
60～64歳	459	76.2	51.0	105.0
65～69歳	698	75.6	43.0	107.0
70～74歳	641	74.5	33.5	103.5
合計	2,367	75.5	33.5	123.0
女性	最小血圧 (mmHg)			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	272	64.5	45.0	101.0
45～49歳	285	68.9	45.0	96.0
50～54歳	399	70.2	46.0	100.0
55～59歳	729	74.6	45.0	112.0
60～64歳	899	74.0	45.0	105.0
65～69歳	1,034	73.2	30.0	103.0
70～74歳	1,006	73.5	44.0	102.5
合計	4,624	72.9	30.0	112.0
合計	最小血圧 (mmHg)			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	357	66.8	45.0	103.0
45～49歳	401	71.3	45.0	113.0
50～54歳	547	73.3	46.0	115.0
55～59歳	949	75.1	45.0	112.0
60～64歳	1,358	74.8	45.0	105.0
65～69歳	1,732	74.2	30.0	111.0
70～74歳	1,647	73.9	33.5	103.5
合計	6,991	73.8	25.5	123.0

二. HbA1c

全体のHbA1cの平均値は5.44%である。男女別にみると、男性5.54%、女性5.40%で、男性の方がやや高い。

男女別・年齢階級別にみると、男性でHbA1cの平均値が最も高いのは50-54歳(5.61%)で、次いで70-74歳(5.60%)である。女性でHbA1cの平均値が最も高いのは70-74歳(5.49%)で、次いで65-69歳(5.47%)である。

図表 3-5 4 HbA1c

男性	HbA1c (%)			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	50	5.10	4.45	6.30
45～49歳	69	5.23	4.25	6.95
50～54歳	96	5.61	4.60	11.25
55～59歳	152	5.54	4.50	10.85
60～64歳	327	5.46	4.05	11.80
65～69歳	508	5.59	4.15	27.00
70～74歳	503	5.60	4.10	11.05
合計	1,705	5.54	3.90	27.95
女性	HbA1c (%)			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	181	4.94	4.00	6.60
45～49歳	170	5.07	4.40	7.45
50～54歳	256	5.25	4.40	8.35
55～59歳	506	5.40	4.35	10.45
60～64歳	667	5.41	4.30	11.60
65～69歳	773	5.47	4.10	14.30
70～74歳	802	5.49	4.40	11.45
合計	3,355	5.40	3.95	14.30
合計	HbA1c (%)			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	231	4.99	4.00	6.60
45～49歳	239	5.12	4.25	7.60
50～54歳	352	5.39	4.40	11.25
55～59歳	658	5.43	4.35	10.85
60～64歳	994	5.43	4.05	11.80
65～69歳	1,281	5.52	4.10	28.45
70～74歳	1,305	5.53	4.10	11.95
合計	5,060	5.44	3.85	28.45

ホ. 中性脂肪

全体の中性脂肪の平均値は 119.1mg/dL である。男女別にみると、男性 138.8mg/dL、女性 108.4mg/dL で、男性のほうが高い。

男女別・年齢階級別にみると、男性で中性脂肪の平均値が最も高いのは 45-49 歳 (210.4mg/dL) で、次いで 50-54 歳 (161.0mg/dL) である。女性で中性脂肪の平均値が最も高いのは 70-74 歳 (116.5mg/dL) で、次いで 60-64 歳 (112.8mg/dL) である。

図表 3-55 中性脂肪

男性	中性脂肪 (mg/dL)			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	85	147.8	51.5	479.0
45～49歳	116	210.4	38.0	681.5
50～54歳	148	161.0	54.5	493.0
55～59歳	220	132.6	34.5	612.5
60～64歳	458	143.9	32.0	992.5
65～69歳	699	135.9	35.0	774.5
70～74歳	641	129.5	33.5	642.5
合計	2,367	138.8	30.0	1,011.5
女性	中性脂肪 (mg/dL)			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	272	75.5	31.0	313.0
45～49歳	285	89.2	31.0	285.0
50～54歳	398	93.8	27.0	365.5
55～59歳	730	110.6	6.0	429.5
60～64歳	901	112.8	26.5	580.0
65～69歳	1,035	108.2	34.5	448.0
70～74歳	1,008	116.5	25.0	539.0
合計	4,629	108.4	6.0	605.5
合計	中性脂肪 (mg/dL)			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	357	99.5	31.0	479.0
45～49歳	401	131.5	31.0	681.5
50～54歳	546	117.9	27.0	493.0
55～59歳	950	115.7	6.0	660.5
60～64歳	1,359	123.5	26.5	992.5
65～69歳	1,734	119.5	34.0	774.5
70～74歳	1,649	121.5	23.5	661.5
合計	6,996	119.1	6.0	1,011.5

へ. HDL

全体のHDLの平均値は62.4mg/dLである。男女別にみると、男性56.2mg/dL、女性65.8mg/dLで、女性の方が高い。

男女別・年齢階級別にみると、男性でHDLの平均値が最も高いのは65-69歳(57.4mg/dL)で、次いで60-64歳(57.2mg/dL)である。女性でHDLの平均値が最も高いのは45-49歳(69.8mg/dL)で、次いで50-54歳(68.8mg/dL)である。

図表 3-56 HDL

男性	HDL (mg/dL)			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	85	54.3	34.0	93.0
45～49歳	116	51.3	32.0	85.0
50～54歳	148	53.0	33.5	93.0
55～59歳	220	55.8	31.0	113.0
60～64歳	458	57.2	28.0	110.0
65～69歳	699	57.4	27.5	118.5
70～74歳	641	55.6	27.5	118.5
合計	2,367	56.2	26.0	126.0
女性	HDL (mg/dL)			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	272	66.2	33.0	100.0
45～49歳	285	69.8	38.0	122.0
50～54歳	399	68.8	37.0	116.5
55～59歳	730	66.8	35.0	130.0
60～64歳	901	66.2	29.5	146.5
65～69歳	1,035	65.2	34.0	128.0
70～74歳	1,008	63.9	33.5	141.5
合計	4,630	65.8	29.5	155.0
合計	HDL (mg/dL)			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	357	62.2	32.0	103.5
45～49歳	401	63.5	32.0	122.0
50～54歳	547	63.3	33.5	116.5
55～59歳	950	64.2	31.0	133.0
60～64歳	1,359	63.1	27.5	146.5
65～69歳	1,734	62.0	27.5	131.0
70～74歳	1,649	60.7	27.5	141.5
合計	6,997	62.4	26.0	155.0

突合分析による階層化分析

本節では、健診データ及びレセプトデータの突合を行い、確定版に基づくリスク数又は階層化ごとに医療費との関係を観察する。また、階層化基準値を変化させた際の対象者数及び医療費の変動の影響について分析した。

データから「健診データ及びレセプトデータの双方が存在する」という条件でサンプルを抽出したところ、階層化分析対象となったデータは4,925件であった。これら対象サンプルについて、確定版にしたがってリスクの評価及び階層化を行った。

(i) リスク数別人数及び医療費（入院+外来医療費）

確定版に基づいたリスク算定の結果、リスク数別の対象者及び医療費については以下の通りであった。

リスクなし群からリスク数3の群まではリスク数に応じて医療費は上昇する傾向が見られた。また、BMIが25以上の群は25未満の群に比べて医療費が高い。

図表 3-57 リスク数別人数及び医療費

(上段：人数、下段：医療費(点))

リスク数	BMI25未満	BMI25以上	総計
0	1,173	225	1,398
	24,391	25,815	24,698
1	1,083	328	1,411
	30,104	36,392	32,250
2	906	422	1,328
	39,758	29,989	35,640
3	372	268	640
	29,668	36,488	33,619
4	76	72	148
	38,207	42,580	40,396
総計	3,610	1,315	4,925
	29,331	32,677	30,304

(ii) 階層化別人数及び医療費（入院＋外来医療費）

階層化別に医療費（点数）を見ると、動機付け支援群、情報提供群、積極的支援群の順に医療費は高い。

図表 3-58 階層化別人数及び医療費

（上段：人数、下段：医療費（点））

階層化	入院＋外来医療費
情報提供群	3,678 29,242
動機付け支援群	963 38,726
積極的支援群	284 28,718
総計	4,925 30,304

(iii) リスク基準を変更した場合の該当者数の変化

以下では、確定版で示される階層化ロジックの基準値を変化させることで、該当者数にどのような変化が見られるかについて分析した。

なお、1つのリスク（例えば血糖）について複数の検査項目が設定されている場合（例えば空腹時血糖とHbA1c）、以下で1つの検査項目の基準値（例えば空腹時血糖）を変化させた場合でも、基準該当かどうかはリスク全体として（例えば血糖リスクとして）算出している。

イ. BMI

現在の BMI の基準で肥満リスクに該当する人は、男性 40.3%、女性で 29.2%である。

この基準を変化させた場合、例えば「27 以上」とすると男性の 27.6%、女性の 16.6%が該当する。

図表 3-59 BMI 基準を変更した場合の該当者数

(上段：人数、下段：%)

BMI	男性	女性
21 以上	1,519 83.4	2,193 73.3
23 以上	1,145 62.1	1,431 48.7
25 以上 (*)	811 40.3	846 29.2
27 以上	659 27.6	530 16.6
29 以上	615 23.7	397 10.7
全数	1,843 100.0	3,082 100.0

* 現在の基準値

ロ. HbA1c

現在の HbA1c の基準で血糖リスクに該当する人は、男性で 60.1%、女性で 54.8%である。

この基準を変化させた場合、例えば「5.7 以上」とすると男性で 41.7%、女性で 27.0%が該当する。

図表 3-60 HbA1c 基準を変更した場合の該当者数

(上段：人数、下段：%)

HbA1c	男性	女性
4.2 以上	1,418 84.6	2,371 84.6
4.7 以上	1,328 80.6	2,247 81.5
5.2 以上 (*)	950 60.1	1,433 54.8
5.7 以上	649 41.7	695 27.0
6.2 以上	593 38.2	582 23.3
全数	1,843 100.0	3,082 100.0

ハ. 中性脂肪

現在の中性脂肪の基準で脂質リスクに該当する人は、男性で41.8%、女性で19.1%である。

この基準を変化させた場合、例えば「190以上」とすると男性で24.7%、女性で10.5%が該当する。

図表 3-6 1 中性脂肪基準を変更した場合の該当者数

(上段：人数、下段：%)

中性脂肪	男性	女性
70 以上	1,517 83.6	2,314 76.4
110 以上	993 55.1	1,207 40.2
150 以上 (*)	812 41.8	577 19.1
190 以上	459 24.7	322 10.5
230 以上	348 18.4	204 6.5
全数	1,843 100.0	3,082 100.0

ニ. HDL コレステロール

現在の HDL コレステロールの基準で脂質リスクに該当する人は、男性で35.3%、女性で19.1%である。

この基準を変化させた場合、例えば「32未満」とすると男性で31.6%、女性で18.5%が該当する。

図表 3-6 2 HDL コレステロール基準を変更した場合の該当者数

(上段：人数、下段：%)

HDL コレステロール	男性	女性
56 未満	1,161 63.0	1,081 34.8
48 未満	849 47.0	723 23.7
40 未満 (*)	632 35.3	577 19.1
32 未満	562 31.6	558 18.5
24 未満	555 31.1	555 18.5
全数	1,843 100.0	3,082 100.0

ホ. 収縮期血圧

現在の収縮期血圧の基準で血圧リスクに該当する人は、男性で 56.3%、女性で 49.5%である。

この基準を変化させた場合、例えば「138 以上」とすると男性で 34.2%、女性で 28.7%が該当する。

図表 3-6 3 収縮期血圧基準を変更した場合の該当者数

(上段：人数、下段：%)

収縮期血圧	男性	女性
114 以上	1,580 84.2	2,461 79.6
122 以上	1,321 69.3	1,970 61.9
130 以上 (*)	1,070 56.3	1,559 49.5
138 以上	704 34.2	990 28.7
146 以上	507 23.2	660 18.0
全数	1,843 100.0	3,082 100.0

ヘ. 拡張期血圧

現在の拡張期血圧の基準で血圧リスクに該当する人は、男性で 66.1%、女性で 59.6%である。

この基準を変化させた場合、例えば「90 以上」とすると男性で 65.5%、女性で 59.5%が該当する。

図表 3-6 4 拡張期血圧基準を変更した場合の該当者数

(上段：人数、下段：%)

拡張期血圧	男性	女性
75 以上	1,450 74.0	2,169 66.0
80 以上	1,409 71.6	2,103 63.6
85 以上 (*)	1,341 66.1	2,027 59.6
90 以上	1,333 65.5	2,023 59.5
95 以上	1,333 65.5	2,020 59.3
全数	1,843 100.0	3,082 100.0

(v) リスク基準を変更した場合の医療費（入院+外来）の変化

以下では、確定版で示される階層化ロジックの基準値を変化させることで、該当者の医療費にどのような変化が見られるかについて試算した。なお、紙幅の都合上、基準値を1段階（1標準偏差の半分）だけ変更した場合の影響について本文では記述することとする。

ト. BMI

現在のBMIの基準で肥満リスクに該当する人の医療費（点数）の平均は32,574点であった。

現在の「25以上」の基準値を「27以上」に引き上げた場合には医療費は増加し、「23以上」に引き下げた場合には医療費は減少する。

図表 3-65 BMI 基準を変更した場合の医療費（男性）

BMI	入院+外来医療費（点）	確定版基準適用時の医療費=100
21以上	30,841	94.4
23以上	31,019	95.1
25以上(*)	32,574	100.0
27以上	33,979	104.0
29以上	36,183	109.7

イ. HbA1c

現在のHbA1cの基準で血糖リスクに該当する人の医療費（点数）の平均は32,854点であった。

現在の「5.2以上」の基準値を「5.7以上」に引き上げた場合には医療費は増加し、「4.7以上」に引き下げた場合には医療費は減少する。

図表 3-66 HbA1c 基準を変更した場合の医療費

HbA1c	入院+外来医療費（点）	確定版基準適用時の医療費=100
4.2以上	30,797	93.5
4.7以上	30,818	93.5
5.2以上(*)	32,854	100.0
5.7以上	35,515	107.5
6.2以上	35,792	108.1

ロ. 中性脂肪

現在の中性脂肪の基準で脂質リスクに該当する人の医療費（点数）の平均は 30,665 点であった。

現在の「150 以上」の基準値を「190 以上」に引き上げると医療費はやや減少し、「110 以上」に引き下げると医療費は増加する。

図表 3-67 中性脂肪基準を変更した場合の医療費

中性脂肪	入院+外来医療費（点）	確定版基準適用時の医療費=100
70 以上	30,730	100.15
110 以上	31,049	101.3
150 以上 (*)	30,665	100.0
190 以上	30,247	99.5
230 以上	30,315	99.9

ハ. HDL コレステロール

現在の HDL コレステロールの基準で脂質リスクに該当する人の医療費（点数）の平均は 30,665 点であった。

現在の「40 未満」の基準値を「32 未満」に引き下げると医療費は減少し、「48 未満」に引き上げると医療費は増加する。

図表 3-68 HDL コレステロール基準を変更した場合の医療費

HDL コレステロール	入院+外来医療費（点）	確定版基準適用時の医療費=100
56 未満	32,831	106.6
48 未満	31,599	102.8
40 未満 (*)	30,665	100.0
32 未満	29,805	97.0
24 未満	29,772	96.9

二. 収縮期血圧

現在の収縮期血圧の基準で血圧リスクに該当する人の医療費（点数）の平均は32,365点であった。

現在の「130以上」の基準値を「138以上」に引き上げた場合には医療費は増加し、「122以上」に引き下げると医療費は若干減少する。

図表 3-69 収縮期血圧基準を変更した場合の医療費

収縮期血圧	入院+外来医療費（点）	確定版基準適用時の医療費=100
114以上	30,974	95.9
122以上	32,212	99.6
130以上(*)	32,365	100.0
138以上	33,823	104.0
146以上	33,764	104.2

ホ. 拡張期血圧

現在の拡張期血圧の基準で血圧リスクに該当する人の医療費（点数）の平均は32,365点であった。

現在の「85以上」の基準値を「90以上」に引き上げた場合も「80以上」に引き下げた場合も医療費は増加する。

図表 3-70 拡張期血圧基準を変更した場合の医療費

拡張期血圧	入院+外来医療費（点）	確定版基準適用時の医療費=100
75以上	32,234	99.6
80以上	32,429	100.1
85以上(*)	32,365	100.0
90以上	32,563	100.6
95以上	32,620	100.8

(vii) 階層化基準を変更した場合の該当者数

確定版で示される階層化ロジックの基準値を変化させることで、情報提供群、動機付け支援群、積極的支援群の該当者数にどのような変化が見られるかについて分析した。

基準1はBMIの基準を厳しくした場合、基準2は全ての基準を厳しくした場合である。

現在の基準よりも基準1の方が、基準1よりも基準2の方が、介入レベルの高い人が減っている。

図表 3-7 1 階層化基準を変更した場合の該当者数

	情報提供群	動機付け支援群	積極的支援群	全体
現在の基準	3,404	1,210	311	4,925
基準1	3,835	816	274	4,925
基準2	4,111	652	162	4,925

※基準1 = BMI「27以上」。

基準2 = BMI「27以上」、空腹時血糖「112以上」、HbA1c「5.7以上」、中性脂肪「190以上」、HDLコレステロール「32未満」、収縮期血圧「138以上」、拡張期血圧「90以上」。

(viii) 階層化基準を変更した場合の医療費（入院+外来）

確定版で示される階層化ロジックの基準値を変化させることで、情報提供群、動機付け支援群、積極的支援群の該当者の医療費にどのような変化が見られるかについて分析した。

現在の基準と基準1、基準2とでは動機付け支援群の医療費がやや増加している。

図表 3-7 2 階層化基準を変更した場合の医療費

(単位：点)

	情報提供群	動機付け支援群	積極的支援群	全体
現在の基準	29,067	35,314	22,058	30,304
基準1	29,437	37,054	23,777	30,304
基準2	29,355	39,279	28,824	30,304

※基準1 = BMI「27以上」。

基準2 = BMI「27以上」、空腹時血糖「112以上」、HbA1c「5.7以上」、中性脂肪「190以上」、HDLコレステロール「32未満」、収縮期血圧「138以上」、拡張期血圧「90以上」。

未受診者分析

(i) 分析の視点

伊豆の国市および小山町から提供を受けた国民健康保険の医療費および健診データの2006年度の突合結果に基づき、被保険者を次の3つのグループに分類した(国民健康保険の被保険者台帳データがないため、健診未受診・医療機関未受診群は把握できない)。

- A. 健診受診・医療機関受診群
- B. 健診未受診・医療機関受診群
- C. 健診受診・医療機関未受診群

	医療機関受診	医療機関未受診
健診受診	A	C
健診未受診	B	

これらの分類により、A群とB群の比較によって、健診受診の有無と医療費の消費状況との間に関連性があるかどうかを検討することができることになる。また、A群とC群の比較によって、健診受診結果と医療機関への受診行動との間の関連性を比較することができることになる。

(ii) 3グループの構成割合

突合分析対象者の全体に占める各々のグループの構成割合は、A31.5%、B57.8%、C10.5%である。

図表 3-73 被保険者の受診パターン別人数(2006年度)

	医療機関受診		医療機関未受診		計	
	人数(人)	構成割合(%)	人数(人)	構成割合(%)	人数(人)	構成割合(%)
健診受診	4,925	31.5	2,086	10.5	7,011	42.1
健診未受診	9,197	57.8	-	-	9,197	57.8
計	14,122	89.4	2,086	10.5	16,208	100.0

(iii) 健診受診・医療機関受診（A）群と健診未受診・医療機関受診（B）群の医療費の比較

イ. 外来医療費

外来医療費は、健診受診（A）群が23,656点に対し、健診未受診（B）群は25,369点である。

図表 3-74 A群とB群の外来医療費

外来	2006年度		
	人数(人)	平均(点)	標準偏差
A. 健診受診・医療機関受診群	4,924	23,656	23,818
B. 健診未受診・医療機関受診群	9,132	25,369	56,679

ロ. 入院医療費

入院医療費は、健診受診（A）群が81,475点に対し、健診未受診（B）群は144,355点と健診未受診（B）群の入院医療費が健診受診（A）群のそれを上回っている。

図表 3-75 A群とB群の入院医療費

入院	2006年度		
	人数(人)	平均(点)	標準偏差
A. 健診受診・医療機関受診群	341	81,475	101,726
B. 健診未受診・医療機関受診群	1,066	144,355	180,326

ハ. 外来+入院医療費

外来+入院医療費は、健診受診（A）群が30,296点に対し、健診未受診（B）群は42,046点と健診未受診（B）群の外来+入院医療費が健診受診（A）群のそれを上回っている。

図表 3-76 A群とB群の外来+入院医療費

外来+入院	2006年度		
	人数(人)	平均(点)	標準偏差
A. 健診受診・医療機関受診群	4,918	30,296	46,248
B. 健診未受診・医療機関受診群	9,197	42,046	99,631

(iv) 健診受診・医療機関受診（A）群と健診受診・医療機関未受診（C）群の健診結果に基づく保健指導レベルの比較

保健指導レベルの判定のできた医療機関受診（A）群は 3,702 名、医療機関未受診（C）群は 1,854 名であった。医療機関受診（A）群の保健指導レベル別の構成比は、情報提供群が 69.2%、動機付け支援群 23.4%、積極的支援群は 7.4%であった。他方、医療機関未受診（C）群は、情報提供群 75.7%、動機付け支援群 12.5%、積極的支援群 11.8%であり、医療機関受診（A）群に比べて保健指導レベルが最も高い積極的支援群の構成割合が高かった。

図表 3-77 A群とC群の保健指導レベル別人数（伊豆の国市）

2006 年度

保健指導レベル	医療機関受診	医療機関未受診	計
	人数（人）		
情報提供群	2,562	1,403	3,965
動機付け支援群	867	232	1,099
積極的支援群	273	219	492
計	3,702	1,854	5,556
	構成割合（%）		
情報提供群	69.2	75.7	71.4
動機付け支援群	23.4	12.5	19.8
積極的支援群	7.4	11.8	8.9
計	100.0	100.0	100.0

医療機関受診（A）群は1,223名、医療機関未受診（C）群は232名であった。医療機関受診（A）群の保健指導レベル別の構成比は、情報提供群が68.8%、動機付け支援群28.0%、積極的支援群は3.1%であった。他方、医療機関未受診（C）群は、情報提供群74.6%、動機付け支援群22.0%、積極的支援群3.4%であった。

図表 3-78 A群とC群の保健指導レベル別人数（小山町）

2007年度

保健指導レベル	医療機関受診	医療機関未受診	計
	人数（人）		
情報提供群	842	173	1,015
動機付け支援群	343	51	394
積極的支援群	38	8	46
計	1,223	232	1,455
	構成割合（%）		
情報提供群	68.8	74.6	69.8
動機付け支援群	28.0	22.0	27.1
積極的支援群	3.1	3.4	3.2
計	100.0	100.0	100.0

福島県猪苗代町

基礎的集計

(i) 全データの集計

本節では、全体の属性について記述する。

イ. 男女年齢階級別人数／比率

分析対象人数は4,471名で、男性が1,934人(43.3%)、女性が2,537人(56.7%)で女性の割合がやや高い。

一方、年齢階級別に男女の割合をみると、男性では60-64歳(45.5%)が最も多く、次いで65-69歳および70-74歳(44.4%)である。女性では、45-49歳(63.0%)が最も多く、次いで40-44歳(60.3%)、50-54歳(57.2%)である。

いずれの年齢階級においても、女性の割合が男性の割合を上回っている。

図表 3-79 男女年齢階級別人数／比率

年齢階級	性別				合計	
	男性		女性		人数(人)	割合(%)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
40～44歳	114	39.7%	173	60.3%	287	100.0%
45～49歳	131	37.0%	223	63.0%	354	100.0%
50～54歳	217	42.8%	290	57.2%	507	100.0%
55～59歳	334	43.2%	440	56.8%	774	100.0%
60～64歳	290	45.5%	348	54.5%	638	100.0%
65～69歳	386	44.4%	484	55.6%	870	100.0%
70～74歳	462	44.4%	579	55.6%	1,041	100.0%
合計	1,934	43.3%	2,537	56.7%	4,471	100.0%

ロ. 高齢者数／比率

全体における高齢者の割合をみると、65歳以上高齢者は1,911人で全体の42.7%を占めている。さらに詳細にみると65-69歳は870人(19.5%)、70-74歳は1,041人(23.3%)となっている。

男女別に65歳以上高齢者の割合をみると、男性では43.8%、女性では41.9%であり、男性の方が65歳以上高齢者の割合がやや多い。

図表 3-80 高齢者数／比率

年齢階級	性別				合計	
	男性		女性		人数(人)	40~74歳人数に占める割合(%)
	人数(人)	40~74歳人数に占める割合(%)	人数(人)	40~74歳人数に占める割合(%)		
40~64歳	1,086	56.2%	1,474	58.1%	2,560	57.3%
65~74歳	848	43.8%	1,063	41.9%	1,911	42.7%
再掲：65~69歳	386	20.0%	484	19.1%	870	19.5%
再掲：70~74歳	462	23.9%	579	22.8%	1,041	23.3%
合計	1,934	100.0%	2,537	100.0%	4,471	100.0%

八. 医療機関受診者

医療機関受診者は全体で3,107人(69.5%)である。

医療機関受診率を男女別にみると、男性75.3%、女性65.1%となっており、医療機関受診率は男性の方がやや高い。

男女別・年齢階級別にみると、男性で受診率が最も低いのは40-44歳(57.9%)である。受診率が最も高いのは70-74歳(87.4%)である。同様に、女性で受診率が最も低いのは45-49歳(39.0%)である。受診率が最も高いのは70-74歳(81.5%)で、これは45-49歳に比べて2倍近い受診率である。

男性においては、年齢が上がるほど医療機関受診率が高くなる傾向がみられる。

図表 3-81 医療機関受診者

男性	医療機関受診				合計	
	あり		なし		人数(人)	割合(%)
年齢階級	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)		
40~44歳	66	57.9%	48	42.1%	114	100.0%
45~49歳	80	61.1%	51	38.9%	131	100.0%
50~54歳	133	61.3%	84	38.7%	217	100.0%
55~59歳	238	71.3%	96	28.7%	334	100.0%
60~64歳	219	75.5%	71	24.5%	290	100.0%
65~69歳	316	81.9%	70	18.1%	386	100.0%
70~74歳	404	87.4%	58	12.6%	462	100.0%
合計	1,456	75.3%	478	24.7%	1,934	100.0%
女性	医療機関受診				合計	
	あり		なし		人数(人)	割合(%)
年齢階級	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)		
40~44歳	76	43.9%	97	56.1%	173	100.0%
45~49歳	87	39.0%	136	61.0%	223	100.0%
50~54歳	132	45.5%	158	54.5%	290	100.0%
55~59歳	262	59.5%	178	40.5%	440	100.0%
60~64歳	244	70.1%	104	29.9%	348	100.0%
65~69歳	378	78.1%	106	21.9%	484	100.0%
70~74歳	472	81.5%	107	18.5%	579	100.0%
合計	1,651	65.1%	886	34.9%	2,537	100.0%
合計	医療機関受診				合計	
	あり		なし		人数(人)	割合(%)
年齢階級	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)		
40~44歳	142	49.5%	145	50.5%	287	100.0%
45~49歳	167	47.2%	187	52.8%	354	100.0%
50~54歳	265	52.3%	242	47.7%	507	100.0%
55~59歳	500	64.6%	274	35.4%	774	100.0%
60~64歳	463	72.6%	175	27.4%	638	100.0%
65~69歳	694	79.8%	176	20.2%	870	100.0%
70~74歳	876	84.1%	165	15.9%	1,041	100.0%
合計	3,107	69.5%	1,364	30.5%	4,471	100.0%